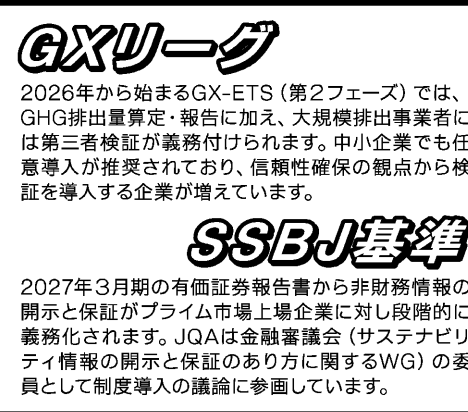


GXリーグ



第三者検証のご相談はこちら  chikyu-sus@jqa.jp

地球温暖化防止に向けて

戸高フードロス削減プロジェクト「もったいないをありがとうに」

JQA 一般財団法人
日本品質保証機構

今年月に改正グリーン・トランスフォーメーション（GX）推進法が可決され、26年度から排出量取引制度の運用が始まる。制度の対象はCO₂の直接排出量が前年度までの3カ年度平均で10万トン以上の企業。政府が企業ごとに排出枠を無償割り当て、CO₂排出量が枠を超過した企業は、超えた分の枠を市場で調達することが義務づけられる。

日本における排出量取引制度は、産学官による「コンソーシアムGXリーグ」による23年に始まった。CO₂排出量の削減に積極的に取り組む企業が自主的に参加。各社が自ら削減目標を設定して進捗を開示目標達成に向けて取り組んできた。

また国際電気標準会議（IEC）により、削減貢献量が26年2月に「IEC60607-2」として国際規格化されることで決まった。削減貢献量は、その技術や製品が使われることで、排出を避けられたと推定されるGHGの量。企業は削減貢献量を示すことで、自社製品サービスの優位性をアピールできる。GXリーグは削減貢献量の規格化をも後押ししてきた。

ブラザーグループは、CO₂排出削減をグループが取り組む重要課題の一つとし、「パリ協定に賛同し温室効果ガス排出量を実質ゼロにする
脱炭素社会形成へ貢献」することを定めています。今後も、省エネ性能に優れた製品の開発をはじめ、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを継続的に行っていきます。



brother
at your side